



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年1月31日

上場会社名 株式会社ホットマン 上場取引所 東  
 コード番号 3190 URL http://www.yg-hotman.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 伊藤 信幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼営業本部長 (氏名) 柳田 聡 TEL 022-243-5091  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	16,460	3.5	726	91.8	781	79.9	509	138.4
29年3月期第3四半期	15,905	△2.2	378	△1.9	434	△0.3	213	△9.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	72.15	—
29年3月期第3四半期	29.83	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	15,464	6,302	40.8	893.23
29年3月期	14,100	5,807	41.2	823.16

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 6,302百万円 29年3月期 5,807百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
30年3月期	—	0.00	—		
30年3月期（予想）				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年3月期の業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,510	2.2	480	150.8	530	102.0	200	140.4	28.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	7,275,500株	29年3月期	7,275,500株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	220,000株	29年3月期	220,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	7,055,500株	29年3月期3Q	7,156,222株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国の経済環境は、雇用・所得環境の改善が続く中、緩やかな回復基調で推移したものの、地政学的リスク等海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社の出店エリアにおきましても、個人消費が伸び悩む中、主たる事業であるイエローハット事業では、前事業年度までの暖冬による季節用品の低迷を受け、気候に影響されない安定した収益体質の構築が最優先課題となっております。

そのような環境の中、当社におきましては、会社方針に『「良樹細根」根が細かく深く張っている木の枝葉はみごとに生い茂った良い木になる。』を掲げ、挨拶をはじめとした基本の徹底並びに事業ごとに設定した施策による粗利の向上をはかって参りました。

当第3四半期累計期間内の出退店はありませぬ。当第3四半期会計期間末の店舗数は、イエローハットが85店舗、TSUTAYAが9店舗、アップガレージが7店舗、カーセブンが3店舗、ダイソーが2店舗、自遊空間が1店舗、宝くじ売場が5店舗、セガが1店舗の合計113店舗となっております。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は16,460百万円となり、前年同期間比555百万円（前年同期間比3.5%増）の増収となりました。経常利益につきましては781百万円となり、前年同期間比347百万円（前年同期間比79.9%増）の増益となりました。四半期純利益は509百万円となり、前年同期間比295百万円（前年同期間比138.4%増）の増益となりました。増益の要因は主として、各事業における施策による利益率の改善等によるものであります。

セグメント別の業績は次の通りであります。

#### [イエローハット]

当社の主たる事業であるイエローハット事業におきましては、車検獲得の強化を通じ、関連するタイヤ販売やオイル交換件数の増加をはかると共に、ポリマー、钣金等のカーメンテナンス工賃収入の増加等、気候に影響されない安定した利益を確保することに注力して参りました。夏タイヤの需要が期を越えて集中したこと及び厳冬により冬季用品の需要が増加したこともあり、売上高は順調に推移致しました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高13,168百万円（前年同期間比3.9%増）、セグメント利益（営業利益）は876百万円（前年同期間比63.6%増）となっております。

#### [TSUTAYA]

TSUTAYA事業におきましては、低迷するレンタルをカバーするべく、主力である書籍の品揃え及び販売の強化を実施し、顧客の利便性とリピート率の向上に注力して参りました。また、話題のタイトル商品の発売が相次いだことにより、売上高は比較的順調に推移致しました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高1,825百万円（前年同期間比2.1%増）、セグメント利益（営業利益）は13百万円（前年同期間比5.7%増）となっております。

#### [アップガレージ]

アップガレージ事業におきましては、中古カー用品の買取強化を実施し、顧客のニーズにあった在庫の確保に注力し、売上高は順調に推移致しました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高816百万円（前年同期間比3.8%増）、セグメント利益（営業利益）は75百万円（前年同期間比38.1%増）となっております。

#### [その他]

ダイソー事業、保険事業並びに不動産賃貸事業におきましては、売上高は順調に推移致しました。

自遊空間事業、カーセブン事業並びに宝くじ事業におきましては、売上高は低調に推移致しました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高649百万円（前年同期間比1.2%減）、セグメント利益（営業利益）は78百万円（前年同期間比3.3%増）となっております。

（2）財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は1,473百万円増加し、8,707百万円（前事業年度末7,233百万円）となりました。これは主に、未収入金（その他の流動資産）が160百万円減少したものの、現金及び預金が1,212百万円、商品が293百万円増加したことによるものであります。

また、固定資産の残高は109百万円減少し、6,757百万円（前事業年度末6,866百万円）となりました。これは主に、建物が120百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産残高は15,464百万円（前事業年度末14,100百万円）となりました。

② 負債

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は1,158百万円増加し、6,298百万円（前事業年度末5,140百万円）となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が96百万円減少したものの、短期借入金が900百万円、未払法人税等が127百万円増加したことによるものであります。

また、当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は288百万円減少し、2,863百万円（前事業年度末3,151百万円）となりました。これは主に、退職給付引当金が69百万円増加したものの、長期借入金が335百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計残高は9,162百万円（前事業年度末8,292百万円）となりました。

③ 純資産

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は494百万円増加し、6,302百万円（前事業年度末5,807百万円）となりました。これは主に、四半期純利益を509百万円計上したことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の主たる事業のイエローハット事業において、主力商品であるスタッドレスタイヤの販売時期が11月から12月に集中するため、通常第3四半期会計期間の売上高は、他の四半期会計期間の売上高と比べ著しく高くなっております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	768,725	1,981,635
売掛金	452,971	599,087
商品	4,948,132	5,241,808
貯蔵品	1,948	2,882
その他	1,061,796	881,927
貸倒引当金	△88	△135
流動資産合計	7,233,485	8,707,205
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,443,102	2,322,839
土地	1,801,214	1,801,214
その他(純額)	484,956	465,080
有形固定資産合計	4,729,273	4,589,135
無形固定資産	42,922	32,736
投資その他の資産	2,094,394	2,135,218
固定資産合計	6,866,590	6,757,090
資産合計	14,100,075	15,464,295
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,109,336	1,175,390
短期借入金	2,150,000	3,050,000
1年内返済予定の長期借入金	892,500	796,446
未払法人税等	121,795	249,091
賞与引当金	81,666	14,166
ポイント引当金	242,627	246,173
その他	542,498	767,285
流動負債合計	5,140,426	6,298,552
固定負債		
長期借入金	1,648,550	1,312,573
退職給付引当金	995,123	1,064,303
役員退職慰労引当金	137,230	140,348
資産除去債務	146,158	148,420
その他	224,780	197,912
固定負債合計	3,151,842	2,863,557
負債合計	8,292,268	9,162,110
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,910,645	1,910,645
資本剰余金	500,645	500,645
利益剰余金	3,374,575	3,813,059
自己株式	△108,380	△108,380
株主資本合計	5,677,486	6,115,970
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	130,320	186,215
評価・換算差額等合計	130,320	186,215
純資産合計	5,807,807	6,302,185
負債純資産合計	14,100,075	15,464,295

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	15,905,221	16,460,533
売上原価	9,140,048	9,243,565
売上総利益	6,765,172	7,216,968
販売費及び一般管理費	6,386,738	6,490,944
営業利益	378,433	726,023
営業外収益		
受取手数料	23,515	22,617
産業廃棄物収入	23,498	24,402
その他	41,893	40,243
営業外収益合計	88,907	87,263
営業外費用		
支払利息	30,891	26,210
その他	1,952	5,461
営業外費用合計	32,844	31,672
経常利益	434,497	781,614
特別利益		
受取保険金	1,300	—
特別利益合計	1,300	—
特別損失		
固定資産売却損	4,596	—
災害による損失	1,891	—
固定資産除却損	2,398	829
子会社株式売却損	6,659	—
事業譲渡損	60,880	—
賃貸借契約解約損	7,881	—
その他	13	—
特別損失合計	84,321	829
税引前四半期純利益	351,475	780,785
法人税、住民税及び事業税	89,549	238,462
法人税等調整額	48,447	33,284
法人税等合計	137,997	271,746
四半期純利益	213,478	509,038

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益計 算書計上額 (注3)
	イエロー ハット	TSUTAYA	アップ ガレージ	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	12,672,792	1,788,538	786,709	15,248,041	657,179	15,905,221	—	15,905,221
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	18,306	1,160	3,377	22,844	8,466	31,311	△31,311	—
計	12,691,099	1,789,699	790,086	15,270,885	665,646	15,936,532	△31,311	15,905,221
セグメント利益	535,462	13,186	54,433	603,082	76,266	679,349	△300,915	378,433

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイソー事業、自遊空間事業及び保険収入等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△300,915千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益計 算書計上額 (注3)
	イエロー ハット	TSUTAYA	アップ ガレージ	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	13,168,919	1,825,815	816,602	15,811,337	649,195	16,460,533	—	16,460,533
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	9,501	1,024	404	10,930	11,035	21,965	△21,965	—
計	13,178,421	1,826,840	817,007	15,822,268	660,230	16,482,499	△21,965	16,460,533
セグメント利益	876,131	13,933	75,150	965,216	78,811	1,044,027	△318,003	726,023

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイソー事業、自遊空間事業及び保険収入等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△318,003千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。